



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 株式会社博展

上場取引所 東

コード番号 2173 URL <https://www.hakuten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 田中 雅樹

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,004	22.7	266	148.2	263	147.9	218	269.4
2018年3月期第2四半期	4,891	23.0	107		106		59	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 217百万円 (305.0%) 2018年3月期第2四半期 53百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	56.46	54.15
2018年3月期第2四半期	15.36	14.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	5,201	1,185	22.8	301.01
2018年3月期	5,258	1,067	20.3	276.74

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,183百万円 2018年3月期 1,066百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期首より適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		16.00	16.00
2019年3月期		10.00			
2019年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	6.1	500	9.8	487	7.7	320	34.7	83.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) タケロボ株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	3,931,300 株	2018年3月期	3,855,200 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	22 株	2018年3月期	22 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	3,872,826 株	2018年3月期2Q	3,855,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	4,891	6,004	1,112	22.7
売上総利益 (%)	1,355 (27.7)	1,569 (26.1)	214	15.8
営業利益 (%)	107 (2.2)	266 (4.4)	159	148.2
経常利益 (%)	106 (2.2)	263 (4.4)	157	147.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (%)	59 (1.2)	218 (3.6)	159	269.4

(注) 売上総利益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の下段に記載している数値は、それぞれ売上高に対する割合を示しております。

当社グループの主要領域である広告・イベント業界においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」(2018年10月18日発表)によると、広告業のうちSP・PR・催事企画における売上高は、2017年9月から2018年8月の累計実績が前年同期間比92.9%といった状況になっております。このような環境の中、当社グループは、今期より新たに設定した中期ビジョン「ココロ揺さぶる瞬間(とき)を創り、世の中を次へ動かす」の実現に向けて努めております。

当事業年度においては、安定した採算構造の確立を目指すべく、顧客に寄り添う課題解決型の営業活動による指名受注の増加と、各商材で培ったノウハウを活かし顧客1社あたりの売上高の向上に取り組むと共に、採算性を重視した業務オペレーションの実行等によりプロジェクト毎の利益確保に注力しております。また、販売費及び一般管理費率の改善を図るべく徹底したコスト管理を継続することで、更なる収益力の強化を図っております。その上で、次の成長に向けた経営基盤の構築を推進すべく、以下の重点分野にフォーカスした投資を行ってまいります。

- ① Experience Marketingに関する専門性の高い人材の採用・育成への投資
- ② リアル接点におけるマーケティング効果に資する新商材開発への投資
- ③ 業務効率化、生産性向上に資するシステム開発への投資

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、60億4百万円(前年同四半期比22.7%増)となりました。各商材カテゴリー別の売上高の状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
展 示 会 出 展	1,405	1,603	198	14.1
イ ベ ン ト プ ロ モ ー シ ョ ン	798	1,720	922	115.5
商 談 会 ・ プ ラ イ ベ ー ト シ ョ ー	925	1,271	345	37.3
カ ン フ ェ レ ン ス ・ セ ミ ナ ー	393	292	△100	△25.6
商 環 境	842	581	△260	△30.9
デ ジ タ ル ・ コ ン テ ン ツ & マ ー ケ テ ィ ン グ	452	480	27	6.0
そ の 他	73	54	△19	△25.8
売 上 高 合 計	4,891	6,004	1,112	22.7

顧客深耕による課題解決型の営業活動に注力すると共に、顧客のニーズを実現するクリエイティブ力と実行力を強みに積極的な新規営業を展開したことにより、展示会出展、イベントプロモーション及び商談会・プライベートショーを中心に売上高が増加しました。

展示会出展においては、既存顧客の案件単価の向上を実現したことに加え、メーカーを中心に新規案件の受注を獲得したことにより売上高が増加しました。イベントプロモーションにおいては、自動車・化粧品・嗜好品の業界を中心に、大型案件や通年型のプロモーション案件などの新規受注を獲得したことにより売上高は倍増しました。商談会・プライベートショーにおいては、リピート案件を確実に受注できたことに加え、大型のプライベートショーや合同展示会の基礎案件を獲得し、案件数及び案件単価が増加しました。

売上総利益は、15億69百万円（前年同四半期比15.8%増）、売上総利益率は26.1%（前年同四半期は27.7%）となりました。売上高の大幅な増加に伴い、社外リソースの活用により外注費率が上昇したことで売上総利益率は低下したものの、前述の要因により売上高が増加したことに加え、採算性を重視した業務オペレーションを実行したこと等により、売上総利益は増益となりました。

販売費及び一般管理費は、13億2百万円（前年同四半期比4.4%増）、販売費及び一般管理費率は21.7%（前年同四半期は25.5%）と、3.8ポイントの改善となりました。これは、売上高の増加に対し、販売費及び一般管理費を一定水準に維持すべくコスト管理の徹底に取り組んだことに加え、上半期に実施予定であった投資の一部を下半期に実施することとしたこと等によります。

この結果、営業利益は2億66百万円（前年同四半期比148.2%増）、経常利益は2億63百万円（前年同四半期比147.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億18百万円（前年同四半期比269.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. リアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業<sup>※1</sup>

当第2四半期連結累計期間におけるリアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、56億18百万円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益は2億85百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

これは、前述のとおり、展示会出展、イベントプロモーション及び商談会・プライベートショーを中心に売上高が増加し、セグメント利益においては、プロジェクト毎の利益確保に注力したことに加え、コスト管理の徹底及び上半期の投資予算の一部を下半期に実施することとしたことによるものです。

b. デジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業<sup>※2</sup>

当第2四半期連結累計期間におけるデジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、4億37百万円（前年同四半期比5.3%減）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期はセグメント損失24百万円）となりました。

これは、グループ各社の営業活動が堅調に推移し、効率性を重視したコスト・マネジメントの徹底が図られたことで、セグメント利益が黒字に転換しました。

- ※1. 展示会・イベント等、人と人とが直接出会う“場”・“空間”において、様々な体験価値を通じて提供される製品・サービスの宣伝・販売活動を「Experience マーケティング」と位置付け、“コミュニケーション”に関わるあらゆる「表現」「手段」「環境」を最適化し“デザイン”することで、サービスを展開しております。
- ※2. インターネットを活用したビジネスモデルの策定から戦略的なWebサイト構築やアプリケーション制作をはじめとし、ビジネス向けアプリ制作・配信・管理プラットフォームやAI・コグニティブ領域など、最先端のデジタル・テクノロジーを集積し“デザイン”することでサービスを提供しています。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、資産合計52億1百万円(前連結会計年度末比1.1%減)、負債合計40億16百万円(前連結会計年度末比4.2%減)、純資産合計11億85百万円(前連結会計年度末比11.0%増)となりました。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は39億24百万円(前連結会計年度末比11百万円増加)となりました。これは、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比90百万円減少したものの、現金及び預金が前連結会計年度末比35百万円増加したこと、前払費用及び前渡金が前連結会計年度末比58百万円増加したことが主な要因となっております。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は12億76百万円(前連結会計年度末比68百万円減少)となりました。これは、繰延税金資産が前連結会計年度末比30百万円減少したこと、のれんが前連結会計年度末比27百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は34億31百万円(前連結会計年度末比1億86百万円増加)となりました。これは、短期借入金が前連結会計年度末比8億18百万円増加したものの、次の項目がそれぞれ前連結会計年度末比で1年以内返済予定の長期借入金2億6百万円、買掛金1億51百万円、未払法人税等1億41百万円、賞与引当金68百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は5億85百万円(前連結会計年度末比3億61百万円減少)となりました。これは、長期借入金が前連結会計年度末比3億45百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は11億85百万円(前連結会計年度末比1億17百万円増加)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により利益剰余金が前連結会計年度末比1億16百万円増加したことが主な要因となっております。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、11億75百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は40百万円(前年同四半期は3億99百万円の獲得)となりました。これは主に、法人税等の支払額2億2百万円及び仕入債務の減少額1億51百万円が、税金等調整前四半期純利益3億10百万円を上回ったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億11百万円(前年同四半期は1億32百万円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出74百万円及び有形固定資産の取得による支出36百万円等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2億50百万円(前年同四半期は3億29百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入れによる収入27億50百万円が、短期借入金の返済による支出19億32百万円及び長期借入金の返済による支出5億47百万円を上回ったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績経過は、本日発表の「第2四半期(累計)業績予想と実績値に関するお知らせ」のとおりであります。通期の業績予想につきましては、2018年5月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,140,747	1,175,842
受取手形及び売掛金	2,452,780	2,362,360
仕掛品	236,467	242,167
原材料及び貯蔵品	2,095	4,004
その他	83,438	141,875
貸倒引当金	△2,472	△1,936
流動資産合計	3,913,058	3,924,314
固定資産		
有形固定資産	261,368	250,810
無形固定資産		
のれん	163,041	135,867
その他	603,009	603,984
無形固定資産合計	766,050	739,851
投資その他の資産		
長期貸付金	—	61,000
その他	319,407	287,375
貸倒引当金	△1,223	△62,191
投資その他の資産合計	318,184	286,183
固定資産合計	1,345,603	1,276,846
資産合計	5,258,661	5,201,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,023,559	872,522
短期借入金	312,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	997,123	790,644
未払法人税等	219,138	77,806
賞与引当金	263,603	195,028
工事補償引当金	1,973	1,951
工事損失引当金	300	—
その他	426,446	363,167
流動負債合計	3,244,145	3,431,119
固定負債		
長期借入金	869,874	524,151
その他	76,821	60,885
固定負債合計	946,696	585,036
負債合計	4,190,841	4,016,156
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	174,449	174,841
資本剰余金	289,331	289,646
利益剰余金	597,931	714,425
自己株式	△27	△27
株主資本合計	1,061,685	1,178,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,205	4,469
その他の包括利益累計額合計	5,205	4,469
新株予約権	929	1,648
純資産合計	1,067,820	1,185,004
負債純資産合計	5,258,661	5,201,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	4,891,832	6,004,296
売上原価	3,536,695	4,434,857
売上総利益	1,355,136	1,569,439
販売費及び一般管理費	1,247,669	1,302,700
営業利益	107,466	266,738
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	147	157
物品売却益	3,979	—
違約金収入	—	1,222
貸倒引当金戻入額	—	949
雑収入	1,907	985
営業外収益合計	6,038	3,317
営業外費用		
支払利息	7,315	6,519
雑損失	0	282
営業外費用合計	7,315	6,802
経常利益	106,188	263,253
特別利益		
固定資産売却益	—	108
持分変動利益	—	47,539
特別利益合計	—	47,648
特別損失		
固定資産除却損	—	36
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	106,188	310,864
法人税、住民税及び事業税	62,703	63,400
法人税等調整額	△10,174	28,793
法人税等合計	52,529	92,193
四半期純利益	53,659	218,670
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,537	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,197	218,670

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	53,659	218,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153	△736
その他の包括利益合計	153	△736
四半期包括利益	53,813	217,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,351	217,934
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,537	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	106,188	310,864
減価償却費	91,744	105,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,457	△949
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,538	△68,574
工事補償引当金の増減額(△は減少)	△1,675	△22
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	△300
のれん償却額	32,867	27,173
受取利息及び受取配当金	△151	△158
固定資産除却損	—	36
物品売却益	△3,979	—
持分変動損益(△は益)	—	△47,539
支払利息	7,315	6,519
売上債権の増減額(△は増加)	476,575	88,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△207,197	△7,608
仕入債務の増減額(△は減少)	△320,684	△151,037
未払金の増減額(△は減少)	△15,198	△16,925
前払費用の増減額(△は増加)	△21,950	△35,166
未払費用の増減額(△は減少)	18,439	△2,003
前受金の増減額(△は減少)	93,770	23,131
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,534	△40,040
その他	48,960	△23,220
小計	352,552	168,019
利息及び配当金の受取額	151	158
利息の支払額	△6,909	△6,581
法人税等の支払額	△606	△202,018
法人税等の還付額	54,110	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,297	△40,422
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△32,995	△36,547
有形固定資産の売却による収入	972	108
無形固定資産の取得による支出	△101,953	△74,730
投資有価証券の取得による支出	△212	△219
敷金及び保証金の差入による支出	△302	△605
敷金及び保証金の回収による収入	306	110
その他	1,892	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,292	△111,920
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600,000	2,750,000
短期借入金の返済による支出	△390,000	△1,932,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△565,635	△547,555
リース債務の返済による支出	△19,911	△18,782
新株予約権の発行による収入	—	706
配当金の支払額	△53,594	△61,722
非支配株主からの払込みによる収入	—	60,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,141	250,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△62,136	98,303
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,517	1,140,747
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△63,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,336,380	1,175,842

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	デジタルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,487,315	404,517	4,891,832	-	4,891,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,823	57,672	66,496	△66,496	-
計	4,496,139	462,190	4,958,329	△66,496	4,891,832
セグメント利益又は損失(△)	170,523	△24,850	145,673	△38,206	107,466

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△38,206千円は、のれんの償却額△32,867千円、セグメント間取引△5,339千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	デジタルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,617,998	386,298	6,004,296	-	6,004,296
セグメント間の内部売上高又は振替高	978	51,261	52,239	△52,239	-
計	5,618,977	437,559	6,056,536	△52,239	6,004,296
セグメント利益	285,517	8,958	294,475	△27,736	266,738

(注) 1. セグメント利益の調整額△27,736千円は、のれんの償却額△27,173千円、セグメント間取引△563千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

## ② 受注状況

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

前第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	5,392,465	151.7	3,196,026	162.9
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	289,947	69.3	214,548	63.4
合計	5,682,412	143.0	3,410,575	148.3

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	5,514,273	102.3	3,092,301	96.8
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	452,178	156.0	280,429	130.7
合計	5,966,452	105.0	3,372,730	98.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

前第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	4,487,315	121.7
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	404,517	138.6
合計(千円)	4,891,892	123.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	5,617,998	125.2
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	386,298	95.5
合計(千円)	6,004,296	122.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。